

ホネホネサミット 2023 参加

山本幸介

2023年10月21日(土)・22日(日)、大阪市立自然史博物館で開かれたホネホネサミット2023に駿河ほねほね団として出展・参加してきました。

ホネホネサミットは、全国各地から骨格標本作りを行っている団体・個人が集まり、各々が作製した骨格標本を展示したり日々の活動を紹介したりする骨好きには堪らない一大交流イベントです。2009年から1〜3年おきに開催され今回で8回目となります。

今回は全国各地から(さらにドイツからも)42もの団体・個人の出展があり、各々趣向を凝らした展示がなされていました。例えば、ある出展者では日本に生息する野生動物の頭骨を並べて種名を当てるクイズをやっていて、カード型デバイスを用いてスマホで解答を見れるような仕組みとなっていました。また各動物種の上腕骨だけを集めて展示していたブースがあり、種ごとの形態の違いが比較でき、大変面白く感じました。

私たち駿河ほねほね団は「骨パズル」というテーマで、アライグマの歯を顎の骨にある歯槽(しそう)の正しい位置にはめ込んだり、シカの手根骨をぴったり合わせたりする体験型の展示を行いました。歯も手根骨も正しいところに位置することで、ピタツとはまったり、隣の骨とぴったりくっつきますので、参加された方はみな達成感が大きいようで、長い時間熱心に骨パズルに果敢に挑戦していただきました。また、両生類から哺乳類まで様々な動物の手の骨格をドイツ箱に収めた展示物も今回のサミットに合わせて製作しました。特にスナメリとクビワオオコモウモリの手の骨格は皆さん一様に驚かれた様子で、ドイツ箱に顔を近づけてよく観察されていました。

今回、2日間の開催で約5000人の来場者があり、私たち駿河ほねほね団のブースも大変大賑わいでした。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



ホネホネサミット2023 駿河ほねほね団のブース



骨パズル アライグマの歯を歯槽にはめ込む



骨パズル シカの手根骨をぴったり合わせたりする